

総括

■ 種別

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」を適用して審査を実施した。

■ 認定の種別

書面審査および9月18日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」認定

■ 改善要望事項

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」
該当する項目はありません。

1. 病院の特色

貴院は1906年に兜山麓診療所として開設され、1997年に現在の久留米リハビリテーション病院へ名称を変更し、2002年には回復期リハビリテーション病棟の運用を開始している。病床過多な筑後地域の中でも、早くからリハビリテーション医療に取り組み、脳卒中や大腿骨近位部骨折のほか、脊髄損傷患者など交通外傷患者の受け入れも積極的に行い、地域のリハビリテーションセンターとして中心的な役割を担ってきた。

臨床においても質の高い医療を展開され続け、2004年に病院機能評価の認定を取得以降、継続的に認定を更新している。また、さらに質の高いリハビリテーション医療を提供するべく、付加機能評価（リハビリテーション機能）の認定も取得している。今回の高度・専門機能の審査においても、医療の質向上に主体的に取り組まれている姿勢が多数確認されたが、さらなる取り組みが必要なものについては、全職員が一丸となって検討され、今後の貴院の一層の発展へと繋げられることを期待したい。

2. 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

病院の理念、基本方針を踏まえて、回復期リハビリテーション病棟でも理念、基本方針を制定しており、内容の見直しもなされている。充実したリハビリテーション・ケアを提供できる職員を配置しており、医師はリハビリテーション科認定臨床医1名の専従に加え、リハビリテーション科専門医がサポートできる体制となっている。

医療安全、医療関連感染、急変時に対する取り組みは適切である。臨床指標の収集は行っているが、公表が院内に留まっている。データを活用した病院の業務やリハビリテーション・ケアの質の改善に繋げる取り組みは今後の課題であり、公表対象も含めて今後の発展に期待したい。回復期リハビリテーションに関する教育・研修も適切に行われているが、各種認定看護師や認定療法士の育成にも期待したい。

急性期病院や退院後の介護サービス事業者との連携は円滑に行われている。患者の社会復帰に向けた取り組みとして、院内の療養病棟と連携して、リハビリテーションシェアハウスや就労支援B型が体験できることは評価できる。

3. 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

回復期リハビリテーション病棟に配属される医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、管理栄養士は専門的な役割・機能を発揮し、患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている。チーム医療の実践にも適切に関与している。また、それぞれの職種は質向上に向けた活動として、自己研鑽、研修活動にも取り組んでいる実態が確認できた。

医師はチーム医療のリーダーとして活躍しているものの、個別性のある指示箋や再発・合併症のリスク評価と対応という点で画一的となっている実態が確認された。また、リハビリテーション総合実施計画書は毎回医師が説明されると良い。

各療法士は評価が身体機能に偏重しており、目標が画一的となっている実態が確認されたので、実生活に沿った具体的な生活像が窺える評価と記載を期待したい。また、業務改善と医療の質向上を目的として、看護師と各療法士には全国レベルでの学会活動をされるよう期待したい。

4. チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

入院当日に各職種が評価を行っているが、評価に関しては身体機能が中心であり、ICFの概念に基づき活動や参加を含め評価しゴールを設定するよう望みたい。入院診療計画書やリハビリテーション実施計画書は入院当日に作成され、患者・家族に説明のうえでの同意を得ている点は評価されるが、医師による具体的なリハビリテーション指示や、リハビリテーションプログラムにおいても患者の趣向を取り入れた活動を提案されるよう期待したい。また、一部症例で回復期リハビリテーション病棟へ転棟した当日に医師の診察・指示がないものが確認されたので、確実に対応されるよう望みたい。

リハビリテーションの進捗状況については、「リハビリテーション総合カンファレンス」において、リハビリテーション・ケア、ゴール設定、退院計画などを討議されているが、情報交換が主体となっており、今後は課題解決に向けての提案や支援計画の変更が、効率的に行われることを期待したい。また、カンファレンス内容の記録に不備がみられるなど、情報共有のツールとして電子カルテが十分活用されていない実態が確認できたので、記録の充実を望みたい。

退院支援は適切に行われているが、単に退院に向けた取り組みに留まらず、退院後の患者の具体的生活像を思い描き、患者に合わせた日課や余暇活動にも関われる取り組みがあるとさらに良い。

1 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営 評価判定結果

1.1	良質なリハビリテーションを提供するための体制	
1.1.1	回復期リハビリテーション病棟の運営に関する方針が明確である	II
1.1.2	良質な回復期リハビリテーション機能を発揮するために必要な人員を配置している	II
1.1.3	リハビリテーションを提供するための組織体制が確立している	II
1.2	安全で質の高いリハビリテーションを実践するための取り組み	
1.2.1	患者の安全確保に向けた体制を整備している	II
1.2.2	患者の急変時に適切に対応できる仕組みを整備している	II
1.2.3	安全で安心できる療養環境の整備に努めている	II
1.3	質改善に向けた取り組み	
1.3.1	回復期リハビリテーションの質改善に必要なデータを収集し活用している	III
1.3.2	回復期リハビリテーションに関する自院の課題の把握と対応策を検討している	II
1.3.3	回復期リハビリテーションに関する教育・研修を行っている	II
1.4	地域の医療機関等との連携とリハビリテーションの継続に向けた取り組み	
1.4.1	急性期病院と円滑に連携している	II
1.4.2	自宅復帰後のリハビリテーション・ケアの継続に向けて地域サービス提供機関等と円滑に連携している	II
1.4.3	自宅復帰が困難な患者のリハビリテーション・ケアの継続に向けて施設等と円滑に連携している	II

2 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

評価判定結果

2.1	回復期リハビリテーション病棟における医師の専門性の発揮	
2.1.1	医師は専門的な役割・機能を発揮している	Ⅲ
2.1.2	医師は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅲ
2.1.3	医師はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.1.4	医師は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.2	回復期リハビリテーション病棟における看護・介護職の専門性の発揮	
2.2.1	看護・介護職は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.2.2	看護・介護職は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.2.3	看護・介護職はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅲ
2.2.4	看護・介護職は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅲ
2.3	回復期リハビリテーション病棟における療法士の専門性の発揮	
2.3.1.P	理学療法士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.1.0	作業療法士は役割・専門性を発揮している	Ⅲ
2.3.1.S	言語聴覚士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.2	療法士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.3.3	療法士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅲ
2.3.4	療法士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅲ
2.4	回復期リハビリテーション病棟における社会福祉士の専門性の発揮	
2.4.1	社会福祉士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.4.2	社会福祉士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.4.3	社会福祉士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ

2.4.4	社会福祉士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
<hr/>		
2.5	回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士の専門性の発揮	
2.5.1	管理栄養士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.5.2	管理栄養士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.5.3	管理栄養士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.5.4	管理栄養士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ

3 チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

評価判定結果

3.1	初期評価とリハビリテーション計画の立案	
3.1.1	初期評価を適切に行っている	Ⅲ
3.1.2	リハビリテーション計画を適切に立案している	Ⅲ
3.2	専門職による回復期リハビリテーション・ケアの実施	
3.2.1	各職種により患者に必要なリハビリテーション・ケアを実施している	Ⅲ
3.2.2	リハビリテーションの進捗状況を共有している	Ⅲ
3.3	多職種による課題の共有と対応	
3.3.1	定期的な情報共有による新たな課題の評価・検討を行っている	Ⅲ
3.3.2	新たな課題の解決に向けたリハビリテーション・ケアを実施している	Ⅲ
3.4	自宅復帰に向けた多職種による協働	
3.4.1	自宅復帰とその維持に必要な患者固有の課題の評価・検討を行っている	Ⅱ
3.4.2	自宅復帰とその維持に向けた課題の解決のための具体的な取り組みを行っている	Ⅱ